

学校教育目標・経営方針

『自ら考える力と思いやりの心を育み、心身ともにたくましい児童生徒を育成する』

- (1) 夢と希望を育み、一人一人を生かした楽しく感動のある学校づくりを行う。 <明るく楽しい学校づくり>
- (2) 児童生徒が確かな学力を身に付けられるように、常に授業の工夫改善に努める。 <豊かな学びづくり>
- (3) 多様な交流・体験活動を通して、一人一人がお互いを認め合い、信頼し合う心を育てる。 <思いやりの心づくり>
- (4) 児童生徒の生命・身体の安全に留意し、危機管理体制の整備と徹底に努める。 <安全・安心な学校づくり>
- (5) 行事や体験を通して、自らの健康に対する関心を高め、体力づくりの充実を図る。 <身体の健康づくり>

学校概要	創立 78 周年	学校長 木村 伸一	教頭 小出 幾子		2学期制	一般学級 小 20 中 6 計 27	特別支援学級 1
	児童生徒数:	741 人	小学部 552	中学部 189			

- めざす児童生徒像【いじめのない学校へ】
- ◎自ら考え、課題解決できる児童生徒【知】
基礎基本の確実な定着を図り、言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力を育成
多様な体験活動を通して自ら学び、自ら考える力を育成
学びをふり返り、自己評価能力と、調整力を育成
- ◎感性豊かな心をもつ児童生徒【徳】
思いやりの心や感動する心、生命尊重の心の育成
価値観の違いや異質なものを受け入れられる多様性ある国際人の育成
現地理解及び国際交流を柱とした人権教育の推進
- ◎たくましく未来を切り開く元気な児童生徒【体】
段階的に体力や持久力を高める運動の確保
健康、安全に留意できる児童生徒の育成
運動やスポーツに親しむ心の育成

めざす教師像【一人を大切に使う学校へ】

『教育に誇りと情熱をもち、自己に厳しく、研修と実践に励む教師』

- ◇子どもの力を認め伸ばす教師
◇もてる力を存分に発揮する教師
◇常に課題をもって実践する教師
◇保護者や地域社会の信頼に応える教師
◇チームを意識し常に協力して「一人を大切に使う」教師

めざす学校像【誰もが安心できる学校へ】

『通ってよかった 出会えてよかった 学校』

- ◇子どもが生き生きしている学校
◇自分の思いを出し合える学校
◇元気にあいさつを交わす学校
◇明るく楽しく、協力し合う学校
◇安心して学べる安全な学校

魅力ある学校づくりのために

～一人を徹して大切に使う学校<ここならではのこだわり>～

- 中期取組目標
- ◇一人を徹して大切に、個を活かし、多様性を受け入れるかわり、明るく感動と夢のある学校へ。
- ・一人ひとりの特性を見取り、個に応じた学習方法の工夫や指導方法の改善で、学力が向上する学校にします。
 - ・一人ひとりに寄り添いながら全教職員で一人を育てる「チームTJS」を実感する学校にします。
 - ・一人ひとり誰もが安心して居心地の良いいじめのない環境で、新たな歴史を創造する学校にします。
 - ・一人ひとりが、ICT機器等を活用し、台北や世界とつながる学校にします。
 - ・一人ひとりに向けて、ダイナミックな教育活動を通じ、社会性を育み、他を認め、自他を大切に使う温かな学校にします。

重点取組分野

具体的取組

確かな学力	①次のやる気につながる学習評価で授業改善に取り組み、一人ひとりに応じた学習指導とカリキュラムマネジメントを行う。 ②児童生徒が安心して学習に取り組めるようにユニバーサルデザインを意識した学習指導を行う。 ③少人数や学習集団の工夫や、TT、小学部での教科担任制など学習形態の方法を工夫し、実施する。
豊かな心	①よりよいあいさつができることを目指し、コミュニケーション能力を育成する。 ②道徳授業力向上や、ボランティア活動への意識を高め、豊かな心の育成や感謝の気持ちを伝えられるように支援する。 ③異学年交流や現地校交流などの機会を通じ、他を認め受け入れる心を育成する。
健やかな体	①体育の授業に、体力づくりを意識した内容を継続的に取り入れる。 ②休み時間を活用し、アリーナや活動場所を体力向上に有効活用する。 ③プール施設の活用で、泳力の向上や水辺の安全を身に付ける。
いじめへの対応	①「いじめ防止アンケート」の定期的な実施を通じ、児童生徒の困り感へ寄り添い、安心・安全な学校にする。 ②児童生徒と個別の面談の機会を設け、一人ひとりの実態を把握し困り感に寄り添った支援を行う。 ③いじめ防止・ハラスメント防止へ職員研修を行う。また、保護者への啓発活動を行う。
特別支援教育	①特別支援教育コーディネーターを活用し、組織として支援体制を作る。 ②インクルーシブ教育推進を主とした取組で、どの学級でも誰もが安心して豊かに生活できる学校のUD化に取り組む。 ③iHUBの取組で日本語学習の支援を行う。④通級指導教室の開設へ向けて通級開設委員会で準備を行う。
児童生徒指導	①一人の児童生徒へ複数の教職員で関わり、それぞれの視点で、その児童生徒のよい部分を共有する取組を行う。 ②学校生活スタンダードを全教職員が共有し、誰に対しても教職員が同じ関わり方で支援できるようにする。 ③児童生徒に寄り添った丁寧な支援を学校全体で取り組む。
危機管理・安全	①危機管理マニュアルの見直しを行い、教職員・児童生徒・保護者が共有する。 ②日本人会安全対策会議と連携し、情報の共有と事案対応を迅速に行えるようにする。 ③危機管理意識・安全確保意識を高めるための情報発信を行う。
異学年交流「縦割り活動」	①行事それぞれのねらいを明確にし、児童生徒が目標をもって主体的に取り組めるようにする。 ②様々な特性をもつ児童生徒が誰とでも優しく関わることができるように、意図的・計画的に縦割り活動を実施し、相手を思いやりながら行動できるよう育成する。
自分づくり（キャリア教育）	①働くことの意味を理解し、台北の企業や団体と協働した参画活動に取り組む。 ②自身の1年間の成長の目標を決め、取組をキャリアパスポートとして蓄積し、振り返りを行う。 ③地域コーディネーターの活用を推進する。
人材育成・組織運営（働き方改革）	①会議の持ち方や内容について、効率的な会議となるように常に意識し、組織として改善に取り組む。 ②教職員の主体的な自主研修を実施し、互いのスキルアップを目指す。 ③メンターを中心とし、チームで人材育成に取り組む。